

[不可攜帶任何字典進入試場]

一、中譯日 (正確使用常用漢字，且漢字部分務必標示假名) (60%)

1. 我們既要工業發達，又要環境優美，所以必須先有周詳的規劃。(8%)
2. 他自以為工作能力很強，其實周圍的人對他評價很低。(6%)
3. 看來老王不在家，信箱裡塞滿了郵件。(6%)
4. 日本首相安倍晉三實施量化寬鬆政策，造成日幣貶值。究竟安倍的經濟政策是好或壞，目前有正反兩種不同的評價。(10%)
5. 我很懷念早年居住台北的那段時光，五月間下著綿綿細雨的雨季裡特別富有情調，晚上和幾位知己泡一壺茶、聽著細雨、高談將來的抱負，雖然多半是一些不切實際的理想，但是可以感受到每位臉上散發出來的朝氣。(15%)
6. 關於這次在中部發生之嚴重水災，中央政府已組成救災小組，趕在第一時間點動用可能之資源，盡全力地搶救受困之民眾；軍方也將各地捐出之救援物資即時運到災區，並協助居民盡快恢復家園，受災戶對軍方不眠不休之協助深表感謝。(15%)

二、日譯中 (40%)

1. ちせいのあるひとがそのちせいのめで世間をみながらいきてゆけば、おのずとそれは世間のありかたを批評するということになり、それをうまくひょうげんすることばをそのひとはひひょうかではないだろうか。(7%)
2. かみのほんとしてんし書籍はどちらも人工的なはつめいひんであるので、おなじほうこうに進んでいるのならもんだいはないのだが、目指すほうこうがちがうからたいりつがうまれる。うまく棲み分ければまったくもんだいがないのに。(8%)
3. ぼくが吃音症と縁をきったのは世の中に「紋切り型」のコトバというものがあることを知り、それを使いこなすことをおぼえたときだった。ある局面と馴れ合っていて、いわばその局面とワンセットになっているようなコトバ、それが「紋切り型」だと思われるが、その好例がりゅうこうごだろう。そのとき「アジャパー」というおどろきを表わすかんたん詞がぜんこくを席卷していたが、あるとき、きょうしつで何の気なしにこのコトバが口をついて出て、数人がわらった。途端にぼくは他人をわらわせることの快感にしびれてしまい、それからは、やはりコトバをいちやく蒐集し、それを連発するおどけものに転向していた。(25%)

試題隨卷繳回